

みやぎ復興プレス

「みやぎ復興プレス」では、東日本大震災により被災された方をはじめとした復興に関わる多くの方々に、宮城の復興状況やイベント、被災者支援など、復興に関する主な情報をお届けします。メールマガジンやWebサイトとも連動し、多くの皆さまのお手元に情報をお届けしますので、よろしくお願いいたします。

目次

- p1 トピックス：全国の皆さまにありがとう！
- p2 みやぎ“復興人”：特定非営利活動法人わたりグリーンベルトプロジェクト、応援職員紹介
- p3 月刊ココロプレス
- p4 県からのお知らせ、復興イベント情報



メールマガジンによる配信も行っています！ 配信を希望される方は、1お名前、2お住まいの都道府県、3ご所属（個人の方の場合は不要）をメール本文に記載して fukusuim@pref.miyagi.jp まで送信願います！



全国の皆さまにありがとう！

～宮城から感謝をこめて～

県では、東日本大震災の風化防止や、全国からいただいているさまざまなご支援に対する感謝の気持ちの発信、被災地への中長期的な支援の必要性への理解促進などを目的としたポスターを作成しています。

ポスターは全国の自治体や企業・団体等のご協力により、公共施設や公共交通機関など県外を中心に掲示します。また、ポスターに連動したウェブサイト「宮城から感謝をこめて」では、ポスターには書ききれなかった詳しいエピソード等を、動画とともに発信しています。被災地で復興に取り組む方々の“今”を、どうぞご覧ください。

名取市～閑上さいかい市場～

塩竈市～塩釜蒲鉾連合商工業協同組合～

「ここから出直そう！」「また、ここで会おう！」

「もう一度『かまぼこ日本一』のまちに！」



「閑上さいかい市場」は、名取市閑上地区で津波の被害を受けた商店が、仙台湾から2キロメートル内陸に場所を移し、平成24年2月にオープンした仮設商店街です。



塩竈市は、全国でも有数の水産練り製品の生産地で、県内でもその大半のシェアを誇っています。東日本大震災では、施設や設備に大きな被害を受けましたが、全国から製造機械の提供などの支援もあり、復旧することができました。

ありがとう。

「ここから出直そう！」「また、ここで会おう！」
商売の「再開」と笑顔との「再会」。名取市「閑上さいかい市場」が元気で、
仙台湾から内陸へ約2km、仮設店舗が軒を連ねる宮城・名取の「閑上さいかい市場」。
津波から1年後、漁師や、閑上地区にあった商店が、ここで事業を「再開」しました。
「まのぢりは閉さない」「気持ちまでは戻されていないよ」「いつかは閑上へ戻る」
再開への強い思いと元気で、経営産業省の「がんばる再会店(30選)」にも選定されました。
支援してくれた人たちや、地元の名なみとの「再会」も、ここにはあります。
再び咲いた笑顔は、閑上の名を未来へとつなぐ希望の光です。

「閑上さいかい市場」の「さいかい」には、2つの意味があり、商売の「再開」と地区の人たちやボランティアなどで支援に来ていただいた人たちとの「再会」を表しています。

平成27年3月には、「閑上らしさ」を打ち出したさまざまなアイデア企画などが評価され、経済産業省の「がんばる商店街30選」に選定されました。

ありがとう。

「もう一度『かまぼこ日本一』のまちに！」
宮城・塩竈のかまぼこ業者が一致団結、港町を活気づけています。
鮮魚卸社の閉倒閉、自治体の廃止として廃業してきた塩竈町。
かまぼこなど水産練り製品の生産量が日本一の宮城県で、その大半のシェアを誇ったまち。
県の周回の工場群が壊滅し、宮城県の生産量は一時全国7位まで後退しましたが、
「塩竈のかまぼこは、どこにも負けない味だ」といひききこそ、元気の源。
製造機械の提供など全国からの応援も受けて、再び立ち上がりました。
目指すはもう一度、日本一、そして世界へ。水産のまち、張り切っています。
※「30選」は経済産業省によって「復興」「再会」をテーマに選ばれる。

復興へ頑張ろう！ 復興に取り組む宮城県から、感謝をこめて報告します。
みやぎ復興プレス
https://sites.google.com/site/kanshamiyagi3/

現在は、震災で失ってしまった販路の回復に向けて、イベントでの出店なども積極的に行っています。
「水産都市・塩竈の復興はかまぼこ生産者の元気から。そして、復興するからには、目指すのは日本一！」大きな挑戦がスタートしています。



今月の復興人は、東日本大震災の津波で壊滅的被害を受けた亘理町の海岸防潮林の再生を目指す「特定非営利活動法人わたりグリーンベルトプロジェクト」代表理事の嘉藤一夫さんにお話を伺いました。

●活動を始めたきっかけを教えてください。

家の窓から景色を見ると、とんでもない風景。防潮林がちらほらと残り、あとは草ぼうぼう。震災前は気にもしなかったのですが、いまは風が強く波の音も高くなり、「防潮林を再生しなければ」と。いずれ行政がやったかもしれませんが、少しでも早く再生したいと思い、黙って座っていることができなかったのです。

●どのような取り組みを行っているか教えてください。

地域の住民を中心に沿岸部のランドデザインを描き、そして防潮林を再生するための苗木づくりから、植樹、その後の維持・管理までを行うという取り組みです。(※)

被災した2011年から苗木づくりを始めました。植樹は、今年からで、根を強く張れるように林野庁が盛土をしたところに順次行っています。植樹には、地域の小学生をはじめ、住民や、企業ボランティア等に参加いただいています。

計画面積は15ヘクタールで、2ヘクタールまで終わりました。



東日本大震災前(2007年6月) 東日本大震災後(2011年10月)

写真提供：一般社団法人 東北地域づくり協会

※海岸防潮林の再生については、県及び町と締結した「みやぎ海岸林再生みんなの森林づくり活動」協定に基づき実施しています。

●課題は何ですか。

一つには、若者にもっと参加してほしいということ。この地域の若者は本当に少なくなりました。森の再生には長期間を要し、維持・管理はずっと続きます。後継者が必要です。

もう一つは、活動資金。苗木は必要数の約5万本を準備しましたが、全てが成育するとは限らず、維持費、人件費等もかかります。行政から植樹への補助はありません。現在は、主に企業からの寄付等でやり繰りしていますが、自活できる方法を整えないといけません。



▲事務局スタッフと嘉藤代表理事(左)

●今後の抱負をお聞かせください。

一つは、防潮林の隣にあるほとんど手付かずの広大な農地の活用。農家レストラン、コテージ、亘理特産のイチゴを活用したのもでもいい。憩える場所もでき、雇用も生まれます。

もう一つは、イチゴの形をした熱気球を自分達の手で空に掲げること。この地域は祭りもなくなったので、「わたり熱気球フェスティバル」を企画し、今年で4回目になります(10月25日開催)。気球は、ボランティアの協力によるものです。

地域が豊かになれば、若者も来てくれるし、防潮林の維持管理の費用も賄えると考えています。私の力だけでは限りがありますが、一つ一つ実現していきたいと思っています。

特定非営利活動法人 わたりグリーンベルトプロジェクト

☎0223-35-7735

URL <http://www.watarigrb.org/>

全国の皆さま ご支援ありがとうございます！

応援職員紹介コーナー Vol.37



氏名 大野 康夫(オオノ ヤスオ)
派遣元 埼玉県
所属 防災砂防課

海のない埼玉県から昨年4月に来ました。桁外れの被災状況を目の当たりにするとともに、豊かな海の恵みにも触れて、人間はこれからいかに地球とつきあっていくべきなのか、難しさをあらためて実感しているところです。

任期末まで残り期間が少なくなってきましたが、最後まで宮城県と東北の未来のために力を尽くしたいと思っています。



氏名 佐野 司行(サノ カズキ)
派遣元 石川県
所属 防災砂防課

石川県は、新幹線の開通やNHK朝の連続ドラマ「まれ」で勢いに乗っていますが、人の多さや街の賑わいは宮城県の方が圧倒的に大きいです。石川県も魚介類には自信がりましたが、気仙沼市や石巻市で食べた新鮮な魚介類の美味しさに感動しました。これだけの財産のある宮城県は、必ず復興すると信じています。土木技術者として業務を全うしたいです。



氏名 桐畑 敏和(キリハタ トカス)
派遣元 佐賀県
所属 雇用対策課

佐賀県職員として宮城に来て1年と6ヶ月が経ちました。現在、事業復興型雇用創出助成金の支給審査業務を担当しています。

牛タン、かき、さばなどの新鮮なお魚、そして多彩な日本酒など、仕事後のひとときを同僚と楽しんでおります。年齢を重ねてきているので、健康には十分に気遣いながら、少しでも復興が進むように頑張ります。



氏名 杉田 麻由美(スギタ マユミ)
派遣元 千葉県
所属 雇用対策課

落花生が有名な千葉県から来ました。「ゆで落花生」は炒ったものとは違う味わいです。特に「おおまさり」は1粒が大きく、見た目も楽しんでおすすめします。

4月より事業復興型雇用創出助成金に関する業務を担当しています。宮城県に来てから出会った人、おいしいもの、きれいな景色。いろいろなものからパワーをもらい、日々過ごしています。1日も早い復興を願って、これからも頑張ります！！

「ココロプレス」は宮城県の復興を応援するブログです。

宮城の復興状況や生活再建に懸命に取り組む人々の姿、全国から寄せられる力強く温かい応援の様子などを随時発信しています。

おかげさまで1500記事・100万アクセスを超えました。

宮城の復興情報を募集中です!

復旧復興のPRや支援の取り組みなど、伝えたい情報を、下記メールアドレスまでご連絡ください。

fukusuip@pref.miyagi.jp

必要事項: 1取材対象/2取材希望日/3取材場所/4御担当者氏名/5電話番号

※内容や日程によってはご希望にそえない場合もございますので、ご了承ください。



ココロプレス 検索

2015年9月28日 月曜日掲載

災害食は究極の手抜き料理!～「ママの立場で伝える防災・減災」(多賀城市)

http://kokoropress.blogspot.jp/2015/09/blog-post_28.html

「不安のため、しがみついて離れなくなる子どももいます。短時間で、子どもが食べやすいものを、限られた食材で、簡単に”作らなければなりません」。ママさん防災士として活躍する佐藤美嶺さんが、備蓄と災害食のポイントを伝授してくれました。



2015年10月1日 木曜日掲載

息子よ!今年もいっしょに気仙沼へ行こう!(気仙沼市)

http://kokoropress.blogspot.jp/2015/10/blog-post.html

今年も「チーム気仙沼」の人たちが、少年野球チームに支援金と「広島風お好み焼き」を届けるため気仙沼市を訪れました。メンバーの一人、瀬尾法行さんは、息子の康平さんの遺志を継いで岡山から通い始めて4年目になります。



2015年10月9日 金曜日掲載

3つの道をつなぐ。(石巻市)

http://kokoropress.blogspot.jp/2015/10/3.html

「三陸自動車道石巻女川インターチェンジ」「県道石巻女川インター線」が開通しました! 救急病院へと続く「命を守る道」。水産拠点・女川の「復興を支える道」。そして石巻トゥモロービネスタウンなど「拠点を活かす道」。3つの道をつなぐインターチェンジの誕生です。



2015年10月13日 火曜日掲載

入居者と地域の新たなつながりを応援! 落合復興公営住宅交流会(仙台市)

http://kokoropress.blogspot.jp/2015/10/blog-post_13.html

青葉区落合に完成した「落合復興公営住宅」で、入居者と地域支援者の初顔合わせとなる交流会が行われ、約80名が集まりました。地域の昔話の方言紙芝居「蕃山と龍神さま」や茶話会を楽しみ、たくさんの笑顔があふれていました。



2015年10月19日 月曜日掲載

“未来をかなでる”写真家

(栗原市、南三陸町)

http://kokoropress.blogspot.jp/2015/10/blog-post_44.html

東京のデザイン・印刷会社大伸社の社員有志が立ち上げた「みちのく応援団」。東北の風景写真で綴られたカレンダーの売上を震災孤児の支援団体等に寄付してきました。5年目のテーマは「かなでる」。写真家の齋藤陽道さんが被災地を訪れました。



2015年10月23日 金曜日掲載

ありがとう! 閑上小学校～142年の歴史に幕(名取市)

http://kokoropress.blogspot.jp/2015/10/142.html

解体が決まった名取市立閑上小学校で、小学校に感謝するイベントが催されました。地域住民やボランティアなど約300人が集まり、最後の窓ガラス拭きやミニ運動会、「花は咲く」の合唱などで、懐かしい校舎に別れを告げました。



「放射線・放射能に関するセミナー」を開催します

放射線に対して私たちの体をもつ防護システムや、健康を守る工夫などについてわかりやすく解説し、疑問・質問にお答えします。

【セミナー概要】

テーマ	放射線の影響と健康に生きていくために
講師	公益財団法人ルイ・パストゥール医学研究センター基礎研究部 室長 宇野賀津子氏
日時	平成27年12月5日(土) 13時30分～15時30分
会場	県大河原合同庁舎201会議室
入場料	無料
測定実演	自然界の放射線をご覧いただけます。
申込みについて	事前の申込みが必要です。また、定員は50名(先着順)となっています。県ホームページ、県・市町村窓口のリーフレット裏面の参加申込書により下記までお申し込みください。

☎ 県原子力安全対策課

TEL 022-211-2340

FAX 022-211-2695

<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/gentai/seminar.html>

「岩手県・宮城県・福島県 農業農村復旧復興展」を開催します

岩手県、宮城県、福島県は、東日本大震災により甚大な被害を受けましたが、全国の皆さまのご支援をいただき、復旧・復興を進めています。

全国の皆さまからのご支援に感謝を込めて、復旧から再生へと向かう岩手県・宮城県・福島県の農業農村の様子を平成27年11月9日(月)から11月13日(金)まで、農林水産省「消費者の部屋」(東京都)でパネルでご紹介します。詳しくは農林水産省HPを参照ください。

<http://www.maff.go.jp/j/syoutan/heya/1109.html>



・岩手県陸前高田市小友工区(左上)

・宮城県石巻市

大川地区長面工区(右上)

・福島県南相馬市北海老海岸(左下)

☎ 県農村振興課

☎ 022-211-2863

➤ 復興 イベント情報

ボッケと収穫祭(七ヶ浜町)

地元で「ボッケ」と呼ばれる「ケムシカジカ」は七ヶ浜の名物で、毎年10月中旬から11月中旬にかけて多く収穫される魚です。白身で淡泊な風味は煮付けや鍋物として好まれ、新鮮なものは刺し身や肝あえでも美味しいです。

ボッケの直売会、ボッケ鍋の試食もありますので、ぜひご賞味ください。

☎ 平成27年11月8日(日) 9:00～13:00

☎ 七ヶ浜町屋内運動場

☎ 宮城県漁業協同組合七ヶ浜支所

☎ 022-349-6222

マリンパル女川おさかな市場 かき祭り(女川町)

女川で水揚げされたプリプリの旬の「かき」を格安でご提供します。当日は、炭火での焼きガキを格安販売いたしますのでお楽しみください。また、その他の生鮮魚介類・水産加工品も格安販売致します。

☎ 平成27年11月14日(土)～15日(日)

両日とも10:00～15:00

☎ マリンパル女川おさかな市場

☎ マリンパル女川事業協同組合

☎ 0225-54-4714

凡例

☎ 日時、期間 ☎ 場所、会場 ☎ 問い合わせ

北赤井地区大根狩り(東松島市)

県内でも有数の野菜産地である北赤井地区の特性を活かし、「北赤井地区大根狩り」が開催されます。当日は、参加費500円で大根狩りができるほか、新鮮な野菜や新米の即売会、豚汁等の無料サービスがあります。

☎ 平成27年11月15日(日) 9:00開始

☎ 東松島市赤井宇星場地区のほ場

☎ 東松島市産業部農林水産課

☎ 0225-82-1111

志津川湾鮭・いくらまつり福興市(南三陸町)

志津川名産の秋鮭といくらをテーマに、鮭のオリジナルメニューを提供する店舗が多数出店します。志津川の秋の味覚をぜひご堪能ください。

☎ 平成27年11月29日(日)

10:00～14:00(予定)

☎ ベイサイドアリーナ特設会場(予定)

☎ 南三陸福興市実行委員会

☎ 090-7077-2550

イベントの日程・内容などは変更される場合がありますので、お出かけ前に、それぞれの問い合わせ先にご確認ください。

みやぎ復興プレス 第42号

【発行日】平成27年11月1日 【発行】宮城県震災復興本部(事務局:震災復興推進課)

電話:022-211-2443 e-mail:fukusuif1@pref.miyagi.jp

宮城県ホームページ「震災復興推進課」

URL <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/fukusui/>

「震災・復興」

URL <http://www.pref.miyagi.jp/site/ej-earthquake/>

